



7月の園だより

令和6年6月28日
新宿区立あいじつ子ども園
園長 上村 清香

「見て、触れて、遊んで、感じる！」

園長 上村 清香

6月中旬の、5歳児 研究保育での出来事である。砂場の方から、広場へ続く小径にワイワイ、嬉しそうに、4、5人の子どもたちがやってきた。手元を見ると、小さなカップに水を入れてこぼれないように運んでいる。本園の広場は、砂場よりも一段上にある。その段差を利用して、砂場の塀に樋を斜めにかけ、途中には樋を支えるために、ゲームボックスの上にタライや、バケツなどの身の回りにある道具を、ありったけ積み上げている。保育者は、子どもの話を聞いて、使えそうなモノを傍に用意しておき、見守っていた。絶妙なバランスで積み上げられた支えをみて、「よく考えたね。いいね」と周りにいた保育者たちも微笑んでいた。支えを通して何本ものいろいろな長さの樋や、カーブをしてヒューム管などをつなげて、自分たちで作った砂山の下に水を通したい、というめあてをもって取り組んでいた。塀の上から「いい？いくよ。」下にいる子どもが「いいよ」と答える。小さなカップからそっと水を流す。「いった？」「(水が)きたきた」「こないよ」などのやり取りが続く。そのうちに、大きなバケツに取り替えて水を流すと、歓声が上がる。次に、園庭の梅の実を転がす。子どもは、水が高いところから低いところへ流れる性質や、小さいカップよりも大きなバケツから流すと沢山水が一度に流れること、水以外にも、転がすと面白いものがあることにも気づいた。長距離を流すため、塀の上から見たのでは、下まで水が届いたのかがわからない。だから役割を分けることにした。遊びを通して、試行錯誤して様々なことを感じ、気づいて学んでいく。また、砂場の隣では、「色水研究所」のような遊びが展開された。花やハーブをすりつぶして、いい香りのする色水や、色水のトッピングにしている。保育者が、絵の具の赤、青、黄の三原色で作った色水を、大きなタライに用意しておく。すると、透明のカップに色を混ぜて、自分だけのオリジナルの色水を作り、グラデーションになるように並べている。集中して取り組みながらも、隣にいる友達と気づいたことを伝えあったり、互いに刺激し合ったりしている。講師のお茶の水女子大学教授 宮里 暁美先生から、保育の中で思い続けていることが環境に表れている。環境を通して、子どもは自ら育つ。見て、触れて、遊んで感じている。探究しているということ。本園は、2クラスの年長組があって、よく連携して支えて育ち合っている。だからそれを見ている4歳児がゆっくり育つことができる。一緒に面白い、提案する保育者がいてさらに遊びが深まっていくと、私たちの保育を価値づけ、ご指導いただいた。7月も、子どもたちが育ちあう環境を作り、ゆったりと、没頭できる遊びの時間を保障し、子どもと共に遊びを面白いがる私たちがいたい。



7月のねらい



ひよこ組（0歳児）

- ・水遊びや感触遊びを通して、水の心地よさやいろいろな手触りを楽しむ。
- ・保育者に見守られながら体を動かして遊ぶことを楽しむ。

あひる組（1歳児）

- ・保育者に手伝ってもらいながら、身の回りのことをやってみようとする。
- ・水、砂、泥などの感触を手や足などで感じながら保育者と一緒に楽しむ。

ぺんぎん組（2歳児）

- ・様々な食材に興味をもって食べてみようとする。
- ・水・砂・泥に触れる心地よさを味わい、夏の遊びを楽しむ。

こぐま組（3歳児）

- ・自分でできることを進んでしようとする。
- ・プールや水遊びなど夏の遊びを思いきり楽しむ。

ちゅうりっぷ・たんぼ組（4歳児）

- ・学級の友達と一緒に動いたり、活動したりする楽しさを感じる。
- ・プール遊び、水遊びなど、夏ならではの遊びを楽しんだり、解放感を味わったりする。

ばら・ひまわり組（5歳児）

- ・自分なり目的をもち、試したり工夫したり、挑戦したりして遊ぶこと楽しむ。
- ・プール遊びや水遊びを楽しみ、水に親しんだり開放感を味わったりする。



令6年度 7月行事予定

【行事内容】

日	曜日	行事等
1	月	1号認定児振替休日
2	火	身体測定（4歳児）
3	水	①高齢者センター交流（5歳児）
4	木	身体測定（0・2歳児）
5	金	身体測定（1・3歳児） ②牛乳の話（2～5歳児）
6	土	
7	日	七夕
8	月	身体測定（5歳児） ③英語で遊ぼう（4歳児）
9	火	避難訓練
10	水	④誕生会
11	木	
12	金	園医回診
13	土	
14	日	
15	月	海の日
16	火	
17	水	⑤食育（3歳児） ⑥にじの会イベント（4・5歳児）
18	木	
19	金	⑦1学期終業式
20	土	
21	日	夏季休業日始（8/31まで）
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	園医回診
27	土	⑧神楽坂子ども阿波踊り（4・5歳児任意参加）
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

①3日(水) 高齢者センター交流（5歳児）

高齢者センターのことを知り関心をもつ楽しい機会になるように計画しています。ばら組、ひまわり組の子ども達は利用者の方々に向けて七夕飾りを制作中です。

②5日(金) 牛乳の話（2・3・4・5歳児）

雪印メグミルクの食育の一環として行っている「牛乳の話」です。毎日飲んでいる牛乳の大切さや牛について、牛乳だけでなくバランスよく何でも食べることなど各学年に応じてわかりやすくお話してもらいます。

③8日(月) 英語で遊ぼう（4歳児）

今年度から始まった取組みの2回目です。
講師の今川さんより、英語の歌に合わせて手遊びを楽しみ、子ども達の好きな絵本を英語で読み聞かせをしていただく予定です。

④誕生会

0～3歳児は各クラスで、4・5歳児は合同で7月生まれの友達の誕生をお祝いします。

⑤食育(3歳児)

鈴木栄養士から野菜や果物が、どこで大きく育つかということの話を聞いて、好き嫌いをしないで食べることの大切さを確認していきます。

⑥17日(火) にじの会イベント（4・5歳児）

振付家・ダンサーの康本雅子先生によるダンスワークショップをにじの会主催で計画しています。（見学希望の保護者の方は職員までお申し出ください）

⑦1学期終業式（4・5歳児）

11:00から行います。
次の日からアットホームタイムになります。休みに入る1号認定児も登園する2号認定児も交通事故、水の事故や事件にあわないように過ごし方を聞きます。

⑧神楽坂子ども阿波踊り（4・5歳児）

今年も開催予定となり、4・5歳児が「神楽坂子ども阿波踊り大会」に任意参加することになりました。
※詳細はお知らせを配布いたします。

【夏バテ】

大きな原因は暑さによる食欲低下で、冷たい飲食物の摂取が多くなり、食事のバランスが偏ってしまうことです。また、大量の汗をかくことで体が水分不足になり、熱帯夜の寝苦しさからくるなどの条件が重なって、体調を崩すことが多いようです。

お家での予防法としては・・・

普段から軽い運動をし、お風呂にゆっくりつかりましょう。水分補給は麦茶がお勧めです。冷房を上手に使用し、夏野菜は体を冷やしてくれますので、しっかりと取りましょう。味噌汁も、夏の疲れた胃腸にはぴったりのです。
(看護師 久和薫)



【保育教諭体験についてのお知らせ・希望者のみ】

コロナ禍で休止していた保護者の保育教諭体験を今年度より始めます。1日保育教諭体験は、子ども園の生活を理解していただき、他のお子さんと触れ合うことで、子どもの多様性や成長過程を知り子育ての楽しさを味わっていただくことをねらいとして実施しています。

3～5歳児は7月から、各クラスの日程表をご確認の上、ご希望される保護者の方は担任までお申し出ください。（各クラス1日1名）0～2歳児については10月から募集いたします。